

印刷労連「第27回大会」開催！！

8月30日(金)13:00より東京グランドホテルにて第27回大会が開催され、代議員、中央委員、中央執行委員、各構成組織の傍聴の他、来賓(連合本部、UNI-LCJ、参議院議員、福祉団体)が出席し、総勢152名で大会は進行しました。また、大会で提案された議案は全て承認、可決されました。

『綱領を基本理念に、産業政策を実現しよう!!』

現下の取り巻く諸課題を十分に認識し、
 ~5つの柱で印刷情報メディア産業労働者の経済的・社会的・政治的地位の向上を~



大会次第

1. 開会挨拶
2. 資格審査委員および議事運営委員選出
3. 資格審査委員会報告
4. 大会成立宣言
5. 議長団選出
6. 大会書記長選出
7. 大会書記任命
8. 大会議事録署名名人任命
9. 中央執行委員長挨拶
10. 来賓挨拶
11. 祝電・メッセージ披露
12. 議事運営委員会報告
13. 報告事項
 - (1) 2018年度本部活動報告
 - (2) 2018年度決算報告・会計監査報告
14. 議案
 - 第1号議案 2019~2020年度運動方針(案)に関する件
 - 第2号議案 2019年度予算(案)に関する件
 - 第3号議案 規約等改定(案)に関する件
 - 第4号議案 2019~2020年度役員選出に関する件
 - 第5号議案 2019~2020年度中央委員選出に関する件
15. 大会宣言(案)採択に関する件



開会挨拶・司会
古賀副中央書記長



大会議長
馬場代議員



大会議長
平野代議員



資格審査委員長
中島代議員



大会書記長
水落中央執行委員



議事運営委員長
山口代議員



2018年度本部活動報告
央戸中央書記長



2018年度決算報告
中村財政部長



2018年度会計監査報告
北野中央委員



選挙管理委員長
種子田中央委員



大会宣言(案)採択
勝又副中央執行委員長



閉会挨拶
吉岡副中央執行委員長

大会にお招きしたご来賓の皆さま



日本労働組合総連合会
相原事務局長



UNI-LCJ
小川事務局長



浜野参議院議員



全国労働金庫協会
高橋専務理事



こくみん共済coop
濱田常務理事

議案

第1号議案 2019～2020年度運動方針(案)に関する件

【運動方針策定にあたって】

国内外の情勢ならびに印刷産業の動向などの周辺環境はもとより、足元の雇用情勢や労働諸条件の現状、更には環境問題や健康推進、そして組織の充実・強化・拡大に向けた取り組みなどに加えて、これまで基本理念としてきた綱領や産業政策の実現を目指すと共に、上部団体や友誼組織との連携も含めた運動を進めていくことが印刷労連としての役割と捉えたい。従って、以上を鑑み運動方針の柱を①雇用の安定と労働諸条件の維持向上、②産業政策の実現と印刷産業の発展、③組織の充実・強化・拡大、④労働者福祉の向上、⑤組織の社会的責任と国際平和、の5つの柱で運動を進めていく。



【具体的な運動方針】

1. 雇用の安定と労働諸条件の維持向上

- (1) 健全な労使関係の構築と各種経営施策への対応
- (2) 「印刷労連・賃金政策」に基づく産業間、企業間格差の是正
- (3) 年間総労働時間の短縮
- (4) 「働き方改革」に向けた職場環境の整備と「多様な働き方」の構築

2. 産業政策の実現と印刷産業の発展

- (1) 産業政策の実現
- (2) 印刷産業の社会的および経済的地位の向上

3. 組織の充実・強化・拡大

- (1) 各種機関会議の計画的な開催
- (2) ブロック会議の開催
- (3) 地方協議会議長会議、事務局長会議、構成組織代表者会議の開催
- (4) 女性活躍推進会議の開催
- (5) 地方協議会青年委員会代表者会議および研修会
- (6) 人材育成に向けた教育および広報活動
- (7) 時代の変化に合った規約の見直しによる組織運営
- (8) 本部および地方協議会における適正な予算配分と財政処理
- (9) 組織拡大



4. 労働者福祉の向上

- (1) 労働金庫運動の推進と連携
- (2) 全労済運動の推進と連携

5. 組織の社会的責任と国際平和

- (1) 連合への参画と各種役員の派遣
- (2) 日本生産性本部および全労生への参画と各種役員の派遣
- (3) 富士社会教育センターとの連携による自組織の成長と人材育成
- (4) アジア連帯委員会との連携
- (5) UNIを中心とした国際組織との連携

第2号議案 2019年度予算(案)に関する件

1. 基本的な考え方

運動方針の具現化に向けて、前年度実績を参考にしつつ、より効果的・効率的な財政運営のもと、印刷労連活動の更なる充実につながる予算策定を図っていく。



第3号議案 規約等改定(案)に関する件

1. 改定の経過

2018年度運動方針(補強)に基づき、総務・財政委員会を開催し、現状の規約・規定・細則・内規の精査および見直しについて取り組みを進めてきた。

規定・細則について、現状の制度および運用状況を鑑み、文章整理も含め書記局服務細則および地方協議会運営細則についての一部改定が必要と判断した。



第4号議案 2019～2020年度役員選出に関する件

役職名	氏名	構成組織名
中央執行委員長	佐藤 久恒	凸版印刷労働組合
副中央執行委員長	山野内孝満	コクヨ労働組合
〃	大塚 新二	共同印刷労働組合
〃	吉岡 貞治	トッパン・フォームズ フレンドシップ ユニオン
〃	勝又 紀智	図書印刷労働組合
中央書記長	宍戸 良太	凸版印刷労働組合
副中央書記長	古賀 初代	リーブルテック労働組合
財政部長	中村 彰男	凸版印刷労働組合
中央執行委員	高橋 康	凸版印刷労働組合
〃	川尻 聡	〃
〃	嵯峨 友成	〃
〃	佐藤 正治	〃
〃	藤原 隆之	〃

役職名	氏名	構成組織名
中央執行委員	中村 信也	凸版印刷労働組合
〃	大上 隆史	〃
〃	石山 浩司	コクヨ労働組合
〃	水落 圭吾	共同印刷労働組合
〃	橋内 誠	トッパン・フォームズ フレンドシップ ユニオン
〃	大島 聡	リーブルテック労働組合
〃	村田 茂陽	野崎印刷紙業労働組合
〃	和田 俊春	長野地方協議会（信教印刷労組）
〃	藤井 雅之	石川地方協議会（高桑美術印刷労組）
〃	墨 和芳	愛知地方協議会（共生印刷労組）

会計監査	田中 英海	三浦印刷労働組合
〃	北野 幸宏	大平印刷労働組合

第5号議案 2019～2020年度中央委員選出に関する件

氏名	構成組織名
井筒 智義	凸版印刷労働組合
佐々木 冴子	〃
込山 大介	〃
龍口 隆二	〃
別府 雅弘	〃
井上 善雄	〃
辻 英昭	〃
結野 正也	〃
鈴木 啓之	〃
亙理比呂樹	〃
種田 茂樹	〃
藤崎 弘道	〃
大浦 一泰	コクヨ労働組合
佐藤 一樹	〃
杉山 拓視	〃
渡辺 光一	〃
川村 明久	共同印刷労働組合
岩田 大伸	〃
阿部 俊也	〃
中島 光陽	〃

氏名	構成組織名
細谷 貴之	トッパン・フォームズ フレンドシップ ユニオン
笛田 昭博	〃
橋本 祐敬	〃
小野寺 勇人	〃
秋谷 哲	図書印刷労働組合
重松 克典	〃
鈴木 太郎	〃
川端 潔	野崎印刷紙業労働組合
今村 文雄	〃
品玉 泰宏	リーブルテック労働組合
種子田 浩一	〃
城倉 拓也	トッパン・フォームズ フレンドシップ ユニオン関西
田中 英海	三浦印刷労働組合
日高 裕紀	古林紙工労働組合
島田 昌樹	高桑美術印刷労働組合
岡野 裕次	トッパンプロスプリント労働組合
筒淵 祐一	大日本法令印刷労働組合
小山 智広	トッパン・フォームズ フレンドシップ ユニオン西日本
金森 悟	竹田印刷労働組合
北村 嘉英	天理時報社労働組合
宮岸 達也	ヨシダ印刷労働組合
北野 幸宏	大平印刷労働組合

新中央執行委員長挨拶

今大会で退任された役員の方々の皆さん



佐藤中央執行委員長

田倉前中央執行委員長

小林前中央執行委員

原田前中央執行委員

松下前中央執行委員

土口前副中央執行委員長

退任役員の方々の皆様、長きにわたるご活躍に心から感謝いたします。ありがとうございました。

印刷労連結成 30 周年記念レセプションを開催!!

8月30日(金) 東京グランドホテルにおいて、第27回大会後に、印刷労連結成 30 周年記念レセプションを開催し、総勢 190 名が参加。OB を含め多くの皆様にご来賓としてご出席いただき、盛大な会となりました。1989 年 8 月 25 日に結成し今年で 30 年を迎え、改めて、結成時の理念や志を継承し、さらなる組織の強化・充実と印刷産業の発展に向け活動を展開すべく、皆で力を合わせ、様々な課題解決に向け全力で取り組んで参ります!



主催者代表 佐藤中央執行委員長



鏡開き 声高らかに「よいしょ〜!!」



OB 代表 奥野元中央執行委員長



連合 内田副事務局長



日印産連 杉村専務理事



企業代表 凸版印刷(株) 大久保副社長



UNI - LCJ 松浦議長



浜野よしふみ参議院議員



乾杯 石塚初代中央書記長



閉会 大宰副中央執行委員長



働くを支える 暮らしに備える 生活を豊かに



☆印刷労連☆こくみん共済coop☆労働金庫

— 編集後記 —

印刷労連は 1989 年 8 月 25 日結成から 30 年を迎えました。結成 30 周年記念レセプションには、多くの OB の方にもご出席いただき、印刷労連の歴史を感じる貴重な時間となりました。レセプションでは鏡開きが行われました。鏡開きの「鏡」は円満を、「開く」は末広がりを意味します。酒屋では、酒樽の上蓋のことを鏡と呼ぶそうです。古くから日本酒は、神事を営む

際に神酒として供えられ、祈願が済むと参列者でお酒を酌み交わし、祈願の成就を願うことが習慣となっていました。神酒が樽で供えられた時には樽の鏡を開いて酒を振る舞います。

時代は平成から令和となり、印刷労連も大きな節目を迎えました。新しい令和の時代も、印刷労連、印刷産業の発展を目指し、皆さん共に頑張りましょう!! 書記局 古賀 初代